

- 問1 禅宗の僧である雪舟が、墨の一角で風景などを描き出す「水墨画」を大成させた背景として、禅宗が当時の武士に受け入れられた理由をふまえて説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 加持祈祷を行うことで、現世での利益や病氣平癒を祈る教えが、領地の発展を願う武士の要求に応えたため。 | 2. 阿弥陀仏を信じることで、死後は誰もが平等に極楽浄土へ行けるという教えが、戦乱に明け暮れる武士に安心を与えたため。 | 3. 念仏を唱えるだけで救われるという簡潔な教えが、文字の読み書きを不得手とする当時の多くの武士に普及したため。 | 4. 自ら座禅を組み、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗の教えが、武士の精神的な支えとなったため。 |
|--|---|--|--|
- 問2 室町時代、現在の沖縄県にあたる地域に成立した琉球王国が、日本や明、東南アジア諸国を結ぶ地理的条件を生かして行った、各地の品物を買入れ、他国へ転売する貿易形態を何といいますか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 勘合貿易 | 2. 中継貿易 | 3. 朱印船貿易 | 4. 南蛮貿易 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問3 室町時代の京都において、応仁の乱などの戦乱によって荒廃した都市を復興させ、自衛や自治のために組織を結成した有力な商工業者を何と呼びますか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|--------|-------|--------|
| 1. 惣 | 2. 五人組 | 3. 町衆 | 4. 株仲間 |
|------|--------|-------|--------|
- 問4 室町時代の農村では、有力な農民を中心とした自治組織がつくられ、水利の管理や村独自の掟の作成、年貢の納入などを共同で行いました。また、この時期には馬を用いて荷物を運ぶ陸上輸送の業者も活躍しました。これら自治組織の名称と、陸上輸送を担った業者の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 自治組織は「座」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた | 2. 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた | 3. 自治組織は「座」と呼ばれ、陸上輸送業者は「問（問丸）」と呼ばれた | 4. 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「問（問丸）」と呼ばれた |
|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 京都の町衆は、自分たちの手で都市を運営するだけでなく、戦乱によって途絶えていた文化行事の再興にも力を尽くしました。応仁の乱の影響で約30年にわたり中断されていましたが、町衆の経済力と情熱によって1500年に再興された、京都を代表する祭礼の名称を答えてください。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 祇園祭 | 2. 天神祭 | 3. 時代祭 | 4. 葵祭 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問6 室町時代の農業について述べた文として、当時の食料生産の実態を正しく表しているものはどれか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 大陸から伝わったサツマイモが凶作に備える救荒作物として全国の田畑で栽培された。 | 2. 灌漑施設の整備が進んだことで、一年のうちに同じ田で米を2回作る二期作が全国で一般化した。 | 3. 商品作物の栽培が中心となり、米や麦の代わりに茶や桑のみを専門に育てる農家が急増した。 | 4. 同じ田で夏に米を、冬に麦を育てる二毛作が広がり、人々の食生活を支えた。 |
|--|---|---|--|
- 問7 1467年に発生した応仁の乱は、その後の日本の政治情勢にどのような決定的な変化をもたらしましたか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 将軍の権威が大きく衰退し、実力のある者が上の立場をしのぐ「下剋上」の風潮が強まり、戦国時代へと突入した | 2. 天皇中心の政治を復活させるため、地方の武士が京都に集結し、建武の新政に次ぐ新しい朝廷政治が確立された | 3. 幕府がキリスト教の布教を禁止したため、フランシスコ・ザビエルが九州から国外へ追放される事態となった | 4. 守護大名が団結して幕府を支える体制が整い、幕府による全国支配がより強固なものとなった |
|--|---|--|---|
- 問8 中世から近世において、東南アジアのマラッカや日本の琉球王国などが、中継貿易によって大きな富を得ることができた地理的な理由として、最も適切な説明はどれか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 寒冷な気候を活かして、他の地域では手に入らない希少な毛皮などの産品を独占的に生産できたため。 | 2. 複数の地域を結ぶ海路の結節点（交通の要所）に位置し、多様な物資が集まりやすい条件を備えていたため。 | 3. 広大な平野を背景に持ち、自国で大量の穀物を生産して周辺国へ安定的に供給することができたため。 | 4. 周囲を険しい山々に囲まれていたため、外敵の侵入を許さず、独自の通貨制度を維持しやすかったため。 |
|---|--|---|--|
- 問9 15世紀前半に尚氏によって統一された琉球王国は、日本、中国、東南アジアの諸国を結ぶ地理的利点を活かした交易で栄えました。ある国から輸入した品物を、別の国へ輸出することで利益を得る、このような貿易の形態を何といいますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 中継貿易 | 2. 勘合貿易 | 3. 南蛮貿易 | 4. 朱印船貿易 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問10 室町時代の京都では、幕府が土倉（金融業者）や酒屋から税を徴収して大きな収入を得ていました。このような背景の中、京都の豊かな商工業者たちが団結し、応仁の乱のあとの復興や町の運営を自治的に行った組織または人々を何と呼びますか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 1. 惣 | 2. 町衆 | 3. 問丸 | 4. 座 |
|------|-------|-------|------|
- 問11 室町時代には農業や手工業の発展にともない、各地の特産物を運ぶ流通が活発になりました。この時代、馬の背に荷物を載せて陸上の輸送を担った専門の業者は何と呼ばれますか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 1. 座 | 2. 土倉 | 3. 問丸 | 4. 馬借 |
|------|-------|-------|-------|
- 問12 戦国時代の堺において、都市の運営を担った組織や仕組みについて述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 座と呼ばれる商人の組合が、幕府から独占販売の権限を認められて支配した。 | 2. 惣村と呼ばれる農民の組織が、寄合を開いて年貢の納入などを決定した。 | 3. 守護大名が城下町として整備し、商人に特権を与えて直接統治した。 | 4. 合会衆と呼ばれる有力な商人たちが、合議制によって政治や裁判を行った。 |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問13 足利義満が建立した金閣は、各層で異なる建築様式が組み合わされています。この建築が象徴している「北山文化」の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|-------------------------------------|
| 1. 仏教の平等思想が広まり、身分に関わらず共通の文化を楽しむ風潮が生まれた。 | 2. 将軍が公家と武士の両方の頂点に立つ権力を背景に、両者の文化が結びついた。 | 3. 日明貿易による富を独占した博多の商人が、大陸の文化を日本風に改良した。 | 4. 応仁の乱を逃れた公家たちが地方へ下り、各地の武士に教養を伝えた。 |
|---|---|--|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 自ら座禅を組み、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗の教えが、武士の精神的な支えとなったため。	禅宗は、自身の力（自力）で修行を積み、悟りを目指すという特徴を持っています。このストイックな姿勢が、命がけで戦う武士の気風に合ったことが普及の大きな要因となりました。これに伴い、禅の精神を反映した、無駄を削ぎ落として墨一色で本質を描こうとする水墨画の文化が、雪舟らによって発展しました。他の選択肢は浄土宗（他力本願）や真言宗（密教・現世利益）に関する説明です。
問2	答え 2 中継貿易	室町時代に成立した琉球王国は、日本、明、東南アジア諸国を結ぶ位置にあったため、各地の特産物を買い入れて他国に売る中継貿易によって繁栄しました。
問3	答え 3 町衆	室町時代の京都では、豊かな経済力を持つ商工業者たちが「町衆」と呼ばれる自治組織を形成しました。彼らは応仁の乱で荒れ果てた町の復興を主導し、自分たちの手で町を管理・運営しました。一方、選択肢にある「惣（惣村）」は同時期の農村における自治組織であり、「株仲間」や「五人組」は江戸時代の制度です。
問4	答え 2 自治組織は「惣」と呼ばれ、陸上輸送業者は「馬借」と呼ばれた	室町時代には農村の自衛や管理のために「惣（惣村）」と呼ばれる自治組織が発達しました。惣では寄合を開いて村の掟を定め、水利管理や年貢の未納分を村全体で責任を持つなど、強い連帯感を持って運営されました。一方、交通や商業の発展に伴い、馬を利用して物資を運ぶ「馬借」や、牛を利用する「車借」といった運送業者が活動を広げました。「問（問丸）」は主に港湾などで物資の保管や輸送の仲介、卸売りを担った業者を指します。
問5	答え 1 祇園祭	応仁の乱によって京都の街が焼失した際、伝統的な祭礼である祇園祭も開催できない状態が続きました。しかし、復興を遂げた町衆たちは、自分たちの自治の象徴としてこの祭礼を復活させ、山鉾（やまぼこ）を出す巡行の運営を担うようになりました。これは、町衆が武士の力に頼らず、自立した市民社会を築こうとした姿勢の表れでもあります。
問6	答え 4 同じ田で夏に米を、冬に麦を育てる二毛作が広がり、人々の食生活を支えた。	室町時代の農業の大きな特徴は、米の裏作として麦を育てる二毛作が広く普及したことです。これにより土地の利用効率が高まり、生産量が増加しました。サツマイモの普及は江戸時代中期以降の出来事です。
問7	答え 1 将軍の権威が大きく衰退し、実力のある者が上の立場をしのぐ「下剋上」の風潮が強まり、戦国時代へと突入した	将軍の跡継ぎ問題や有力守護の対立から始まった応仁の乱は、11年間にわたって主に京都を戦場とし、幕府の統制力を完全に失墜させました。これにより、各地で守護代や国人などの下の者が実力で主君を倒す「下剋上」が起こり、戦国大名が割拠する時代へと移行しました。
問8	答え 2 複数の地域を結ぶ海路の結節点（交通の要所）に位置し、多様な物資が集まりやすい条件を備えていたため。	中継貿易が成立するためには、異なる文明や経済圏の間に位置し、船が立ち寄りやすい場所であることが不可欠です。琉球やマラッカは、季節風を利用した航路が交差する場所に位置していたため、情報や物資が集積し、仲介役としての地位を確立することができました。
問9	答え 1 中継貿易	琉球王国は、明（中国）に対して朝貢を行いながら、中国の陶磁器や絹織物を東南アジアへ、東南アジアの香料や染料を中国や日本へ、日本の銀や刀剣を中国へと転売していました。このように、自国の産物だけでなく、他国から仕入れた商品を別の国へ販売する形態を中継貿易と呼びます。
問10	答え 2 町衆	京都の富裕な商工業者は「町衆」と呼ばれ、強い連帯感を持っていました。彼らは応仁の乱で荒廃した京都の街を自分たちの力で復興させ、自治組織を運営したほか、祇園祭の再興などの文化的な活動にも大きな役割を果たしました。「座」は商工業者の独占的な同業者組合を指し、町衆はその構成員でもありましたが、都市の自治主体としての呼称は町衆が適切です。
問11	答え 4 馬借	室町時代、生産力の向上により商品の流通が盛んになると、輸送の専門業者が登場しました。陸上輸送において馬を利用した業者が「馬借」であり、牛を利用した「牛借」とともに物資の運搬を支えました。一方、港町などで水上輸送や物資の保管、委託販売を担ったのは「問（問丸）」です。「土倉」は質屋を営む金融業者を指します。
問12	答え 4 会合衆と呼ばれる有力な商人たちが、合議制によって政治や裁判を行った。	堺のような自治都市では、有力な商人（豪商）たちが「会合衆」という組織を作り、都市の行政や司法を自ら担いました。これは、室町幕府の権威が衰え、社会が混乱する中で、自分たちの財産や商業活動を自衛するために発達した仕組みです。なお、「惣村」は村落における自治組織、「座」は特権的な商工業者の組合を指します。
問13	答え 2 将軍が公家と武士の両方の頂点に立つ権力を背景に、両者の文化が結びついた。	金閣の1階は寝殿造という公家（貴族）の様式、2階・3階は禅宗様という武家や僧侶に好まれた様式になっています。これは、足利義満が太政大臣という公家の最高位に就くと同時に、征夷大将軍として武家を統率し、南北朝の合一を成し遂げた強大な権力者であったことを示しています。この政治的な融合が、文化面においても公家文化と武士文化の融合として現れました。